

中国子会社の事業撤退に伴う留意点

●プログラム●

【開催主旨】

日本企業が中国子会社を清算する場合、税務調査が入り、企業所得税、付加価値税、印紙税、源泉所得税など多岐に渡る指摘・追徴があります。さらに、解雇する従業員への経済補償金、未払社会保険料、外為管理など、税務以外の問題で撤退につまずくことも少なくありません。

これらの点は、中国子会社だけで解決できないとき、日本の親会社に判断が委ねられることもあるため、日本側でも一定の知識が不可欠です。日本の親会社が、適切なタイミングで、適切に判断できなかった場合、中国からの事業撤退にリスクが生じる可能性もあります。

今回のセミナーでは、中国の日系企業が清算を前提とした場合の潜在債務の洗い出し方や、よくあるトラブルの対応策など、デューデリジェンスの現場ノウハウを公開いたします。

◆日時：2014年12月3日(水) 13:30~16:30

◆会場：東京・麹町 「企業研究会 セミナールーム」

◆講師：太陽グラントソントン税理士法人 中国デスク パートナー 税理士 下岡 郁氏

【略歴】

中国吉林省出身 中国政法大学法学部卒業

1993年中国司法試験に合格、中国の弁護士事務所で勤務

1994年来日以来、日中ビジネス、主に会計及び税務業務に従事

2000年日本税理士試験合格

中国子会社の総経理及び上海駐在員事務所の首席代表を経験して、現在中国デスクパートナー

2011年香港貿易発展局会計・税務アドバイザーを兼任

●参加要領●

一般社団法人 企業研究会 セミナー事務局宛 FAX 03-5215-0951

*当会ホームページ (http://www.bri.or.jp) からもお申込みいただけます

●受講料●1名(税込み、資料代含む)

正会員	32,400円	本体価格 30,000円
一般	35,640円	本体価格 33,000円

●申込書に所定事項ご記入の上、下記担当者あてに FAX いただくか、当会ホームページからお申し込みください。後日(開催日1週間~10日前までに)受講票・請求書をお送り致します。

●申込書をFAXにてご送信いただく際は、FAX番号をお間違えないようご注意ください。

●会員企業のご確認、その他セミナーに関するご不明な点につきましては、当会ホームページより〔TOP〕→

【公開セミナー】→【よくあるご質問】をご参照下さい。

●最少催行人数に満たない場合は、中止とさせていただきます。ご了承ください。

一般社団法人企業研究会

担当：村野 E-mail murano@bri.or.jp

〒102-0083

東京都千代田区麹町 5-7-2 麹町 31MT ビル 2F

TEL 03-5215-3550 FAX 03-5215-0951

141626-0301	※ 2014.12.3 中国子会社の事業撤退に伴う留意点		
会社名			
住所	〒		
TEL	FAX		
部課 役職		フリガナ	
		お名前	
e-mail			
部課 役職		フリガナ	
		お名前	
e-mail			

中国子会社の事業撤退に伴う留意点

1. 撤退の背景および概要

(1) 中国日系企業の現状

- ・ 背景
- ・ 現状

(2) 事業撤退の決定プロセス

- ・ 原因分析
- ・ 時期の決定

(3) 事業撤退の障害

- ・ 内部要因
- ・ 外部要因

(4) 撤退の手法の概要

- ・ 解散・清算
- ・ 出資・事業譲渡
- ・ 組織再編
- ・ その他

2. 会社清算

(1) 解散・清算の概要

- ・ 清算の種類
- ・ 普通清算の手続

(2) 清算の留意点

- ・ 潜在債務
- ・ 株主の出資および債権損失
- ・ 清算会社の欠損補てん責任
- ・ 無効行為
- ・ 税務調査

3. 清算を前提とするデューデリジェンス(DD)

(1) 税務コンプライアンス

- ・ 増値税・営業税等
- ・ 企業所得税
- ・ 源泉税(対外支払等)

- ・ 個人所得税(日本人駐在員)

- ・ 移転価格税制

- ・ 印紙税

不動産に関連する税金および付加

(2) 外為コンプライアンス

- ・ 中国の外貨管理制度
- ・ 外貨建債権債務の処理
- ・ トラブルの対応策

(3) 税関コンプライアンス

- ・ 保税取引の概要
- ・ 手冊残高の処理
- ・ トラブルの対応策

(4) 労務債務

- ・ 従業員の解雇および経済補償金
- ・ 社会保険未納チェック

4. 出資譲渡

(1) 出資譲渡の流れ

- ・ 売却先の選定
- ・ 価格の交渉
- ・ 契約等の締結
- ・ クロージング

(2) 出資譲渡の留意点

- ・ 代金の回収
- ・ 譲渡後の周知
- ・ 潜在リスクの認識および回避

5. まとめ

(1) チェックリストの活用